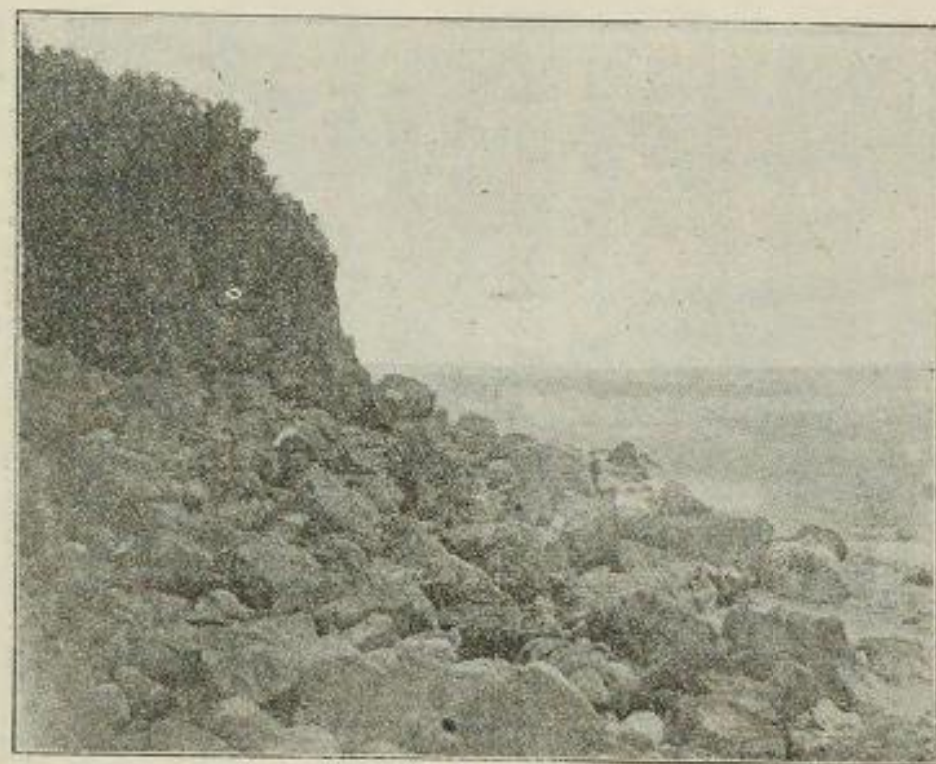


鳥。

尾長鳥、赤色の美麗なる長き尾羽一本或は二本を有す、剝製として賞美せらる。南洋鳥。爬虫にはヤモリ、蜥蜴(甚だ多し、但し無毒)。昆虫には蠅、赤蛾(甚だ多し)、黄色の小蠅、蟻、蜘蛛、蠶紋、ワシガラ、尺取

三 南 鳥 島



(りあてれ埋跡遺の人士界世前(下の岩溶) 増野島大)

を敷き、其上に土を被ひ、かくて其上にて燃火すれば、内なる葱は自然と蒸され、掘り出し鹽かけて喰べれば風

艦は黒潮の流域より脱した、海水は澄み渡りて、藍靑よりも濃く、白き布を浸したらんには色麗はしく染まるべくぞ覺えた。艦は汽笛を長嘯しつ、此の藍靑を衝き行けば、雪の如き飛沫は艦の兩側に泡立ち、實にも氣象は豪快である。體で一線髪の如きものが地平線上に現はれた、見る／＼線は太く長くなつた、然し高低殆どなく、愈近づけば、宛がら袴腰を水に立つる様である。是れぞ今より我等の上陸せんとする南鳥島なり。

南岸の中央より少し東、珊瑚礁の裂罅より傳馬船を入れる、裂罅には六七尺もある浪の聲ち衝りて、泡は全身に降り懸る、岸に飛び上る、ホツと一息する。さて其夕は、曾てサモア土人より見習ひたる即席料理を調へた。是は地面を平げに鑿ち、其内に珊瑚の屑を敷き詰め、其上に玉葱を列べ、玉葱の上に復た珊瑚の屑

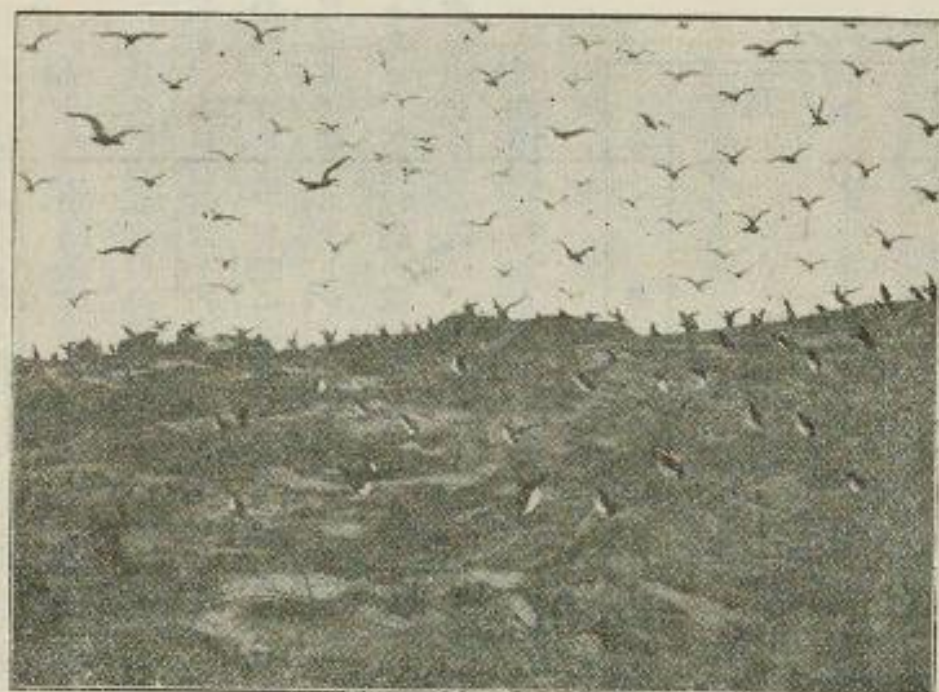
味一入である。ア、蜥蜴が掌上上つて來た、イヤ脇の下にも這入つた、袖の内に居る、十三疋を數へた、内にヤモリも四疋雜つて居る、然し何れも人を刺すことなど知らず、形は小さく、色も美はしく、おさ／＼可憐感する。イデ椰子樹の蔭に憩ひて、此島の風土歴史を物語らんか。

- ▲位置 北緯二四度一七分二秒、東經一五四度三分、東京灣外より一、〇一五哩。
- ▲地形 二等邊三角形 東岸八鏈、南岸七鏈半、西岸九鏈、周圍一里八町。
- ▲地勢 平坦低卑 最高點三三尺、海岸一〇尺、平均一五尺。
- ▲構造 珊瑚(火山島にあらず)。
- ▲地質 海岸は珊瑚の巒岩多く、内陸に入るに隨ひ珊瑚沙、珊瑚礫となる。珊瑚と鳥糞とにて好個の肥料となり、燐酸一五より三一に上る。

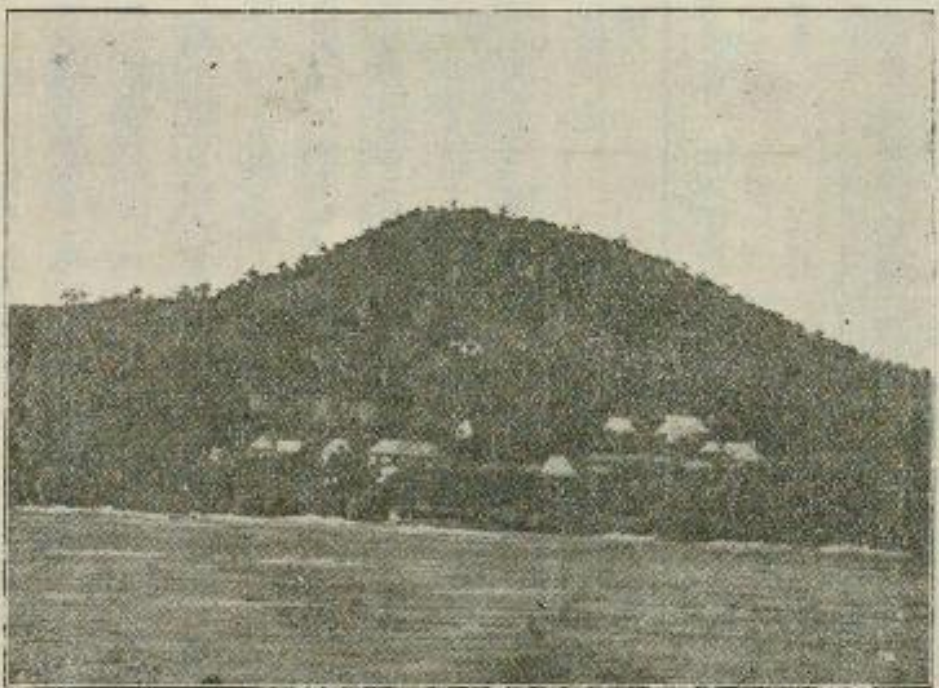
▲上陸 珊瑚礁の裂罅二箇所より上陸し得。

▲植物 椰子樹、タバコの樹、タバコの樹の三種(其他無し)。草五種。

▲動物 獸類なし信天翁(黒白の二種、毎年十一月産卵の爲め來り、翌年三四月頃去る)。燕(甚だ大なり、一二月頃來り、八月去る)。黒燕(燕の六七倍の大サ)。軍艦鳥(一名袋鳥、天狗、海賊の異稱あり、兩翼を張れば一尋に至る大鳥)。鮎捕り(黒白二種)。鯉鳥(群を成して聲を追ひ來るを以て此名あり)。オサ鳥(白オサ、山



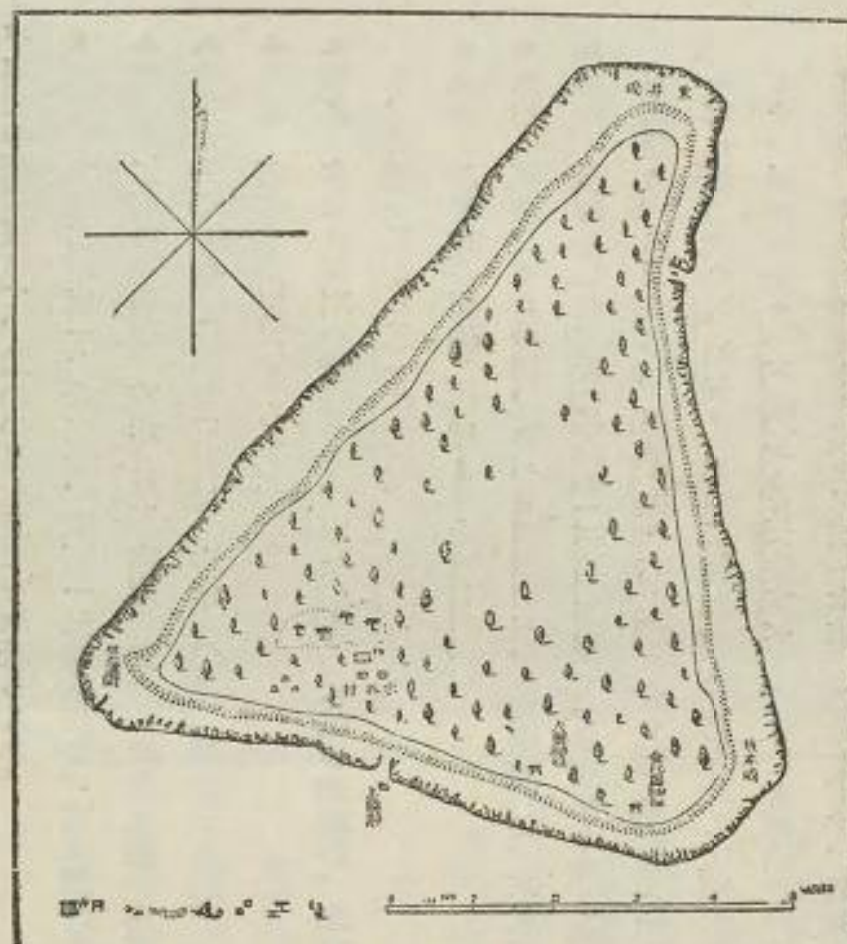
鳥 禽 の 嶼 尾 黄



(村賀古) 嶼 尾 黄

瓜類、蘿蔔、蒔蘿草等を携行し來り、全く永久占領の計畫なりとす、依て秋元中尉は日本政府の公書を

日、笠置技師、同月三十日、米船ジョリア・エー・ウーレンス船長ロズヒル來着、フライアン、セード、ツリックニ博士便乗し、草樹野菜の種子四十個(鐵樹、棕櫚、王株桐、蒲葵、バンダナス、檸檬、柑類、



記號 樹木 椰子 家屋 珊瑚礁 珊瑚礁 墓地 神社 最高地 一分萬一尺例比

三十五年七月、ロズヒル、米國政府の許可を經、占領の爲め來島せんとする電報東京に到着、同月二十七日、帝國軍艦笠置來着、同月二十八日、笠置航海士海軍中尉秋元秀太郎以下十六人上陸駐劄す、同月二十九

▲歴史 米國宣教師發見、Marcus 又 Wicks 島と名く。一八六四年、モーニング・スター艦長ガレット大佐來着。一八七四年、米國タスカロラ船長ベルナッテ來着。一八八〇年、佛國エクレイリ。ー船長フォルニー來着。一八八三年即ち明治十六年十一月、横濱コンシロー商會英國船エター乗組信岡常太郎來着。明治二十二年、米國商船々長ロズヒル來着。同二十九年十二月、東京禽獸社南洋部長水谷新六來着、同年、後備海軍大尉小林春三來着、爾後小林、水谷數回來着。同三十一年七月二十四日、東京府告示を以て同府管轄に編入の義を官報に公示す、九月二十一日、東京府、水谷新六に租借權設定を許可す、水谷及び上瀧七五郎(横濱貿易商)出資して禽島の剝製に従事す。同

ロイズヒルに交附す、ロイズヒル領意し、八月五日、ワイレンス號拔錨、大日本南島島駐劄隊紀念碑(木標)を笠置駐劄所の跡に建立す、同月二十八日、帝國軍艦高千穂來着、同月二十九日、高千穂拔錨、笠置駐劄隊十七人便乗歸途に就く、Marcus 即ち南島島は茲に名義上に於ても事實上に於ても日本國の領土となる。

何故に絶海豆大の島嶼をば此く相争ふものにあらずや、是れ世界趨勢の全く然らしむる所である。世界の趨勢とは何ぞや、人口の増加と共に、土地に限りを生じ、爲めに人類が海洋を開拓せんとするもの即ち是れである。趨勢此の如くなれば、列強には今日絶海中にある無水無人豆粒の如き小嶼と雖も、尙ほ且つ競ひて占領し、海洋開拓の足溜り場即ちステーションとする計畫である。獨り海洋開拓のステーションとなるのみならず、海底電線の中繼所となり、無線電線の電池仲置所ともなるが故に、機を見る神の如き者は、棄て値の時に買ひ占め置き、かくて將來奇利を博せん爲め、列強には絶海豆大の島を相争ひて今より占領するのである。

さて海洋開拓の如き日本人の間には近年起りたる思想に過ぎぬ、而かも實效は如何、即ち

島名	原名	位	置	幅	員	記	事
南島	Ma cus Isla d	北緯 二四度一七分 東經 一五四度三分		周圍 一里			明治三一年以來、信天翁の羽毛を採集して歐洲に輸出し、且つ模範を採集し、賣本主は數萬圓を得(水谷新六及上瀬七五郎當利經等)
南大東島	South Porolimo North Borodino	北緯 二五度五分 東經 一三一度二分		周圍 五里半			明治三三年、玉置半右衛門開拓し、砂糖を製造し、移住民一千二百、小學校、共同浴場、三哩のレセント以上、將來の大富原なり。
北大東島		北緯 二四度三分 東經 一三一度二分		周圍 四里強			松岡操、山本余太郎(横濱市)等の經營せんとする機關は、肥料専門家恒藤農學博士に據るに、當面の丘陵のみにて三百萬圓あるべしと
沖大東島	Es sa Rock	北緯 二四度三分 東經 一三一度一分		周圍 一里強			明治三十年、古賀辰四郎開拓し初む、夜光貝(ホタテ)製造用(肥料)信天翁の羽毛の輸出にて、巨萬の富を得、四三年藍授章褒賜せらる。
尖閣諸島	Pinnacle Islands	北緯 二五度四分 東經 一三三度三分		周圍 二里強			尖閣諸島 岩礁 一里半

島名	原名	位	置	幅	員	記	事
琉黄諸島	Sa. Alessandro Sulphur Island San Augustino	北緯 二四度五分 東經 一四一度二分		周圍 三里			明治三二年、石野兵之丞開拓し初む、甘蔗、洋藍、バナナ、パイナップル等を植ふ、人口三百、小學校あり。
鳥島	Ponafidin Island	北緯 三〇度二分 東經 一四〇度四分		東西 一八町 南北 一三町			明治二一年、玉置半右衛門開拓し初む、日清戦役の際には早く既に在島者より金四百餘圓を抽兵部に獻納す、玉置巨萬の富は此島より得たるもの。

四 朝鮮の眺め

(一) 春 [平壤]

春の晴れ渡れる晝、大同江の岸を散歩すれば、楊は煙の如く畫の如くに平壤の城廓を籠め、樓閣人家或は高く、或は低く其間より見えつ隠れつし、江水は汪々として油の如く、其岸より紅欄の古さびて起るものは大同門である。大同門より少し溯り、絶壁突兀と水より起るものは豊太閣征韓の役及び日清戦役の戦場たる牡丹臺である。